

| | | | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 講義名 | 地誌学 | | |
| 科目区分 | 教養一般 | | |
| 担当教員 | 藤原 喜美子 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 金曜日 1時限 | | |
| | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / | | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 51002 |

主題と概要

テーマ：地誌から見た日本の地域性
この講義の目的は、日本の各地域にねざす地域性を読み取り、理解していくことにある。地誌は各地域の自然、社会、文化などの特性を記述したものである。そこで、近世の頃に記された地誌（紀行文）を題材に取り上げ、現在の様子と比較しながら、各地域の生活文化の特質を考察する。

到達目標

講義の内容を理解した上で、地誌（紀行文）に記された当時の日常生活の特色(地域性)に気付き、自らの言葉で説明できるようになる。

提出課題

1. 指定したテーマについて、中間レポートの提出を求める。題目は別途指示する。
2. 毎回の講義では、感想文等の提出課題を課す。

評価の基準

1. 原則として、出席調査を実施する。
2. 評価は定期試験（55点）、中間レポート（30点）、平常点（15点）を総合して行う。

履修にあたっての注意・助言他

1. この講義では、プリント資料として、主に近世(江戸時代)に記された地誌(紀行文)を使用する。現代の文章とは、かなり異なる表現や記述が多くみられるので、辞書を使用して言葉の意味を調べるなど、予習や復習を各自でしっかり行うこと。
2. 講義中に私語をし、他人の学習の妨害をしないこと。 教室内での私語など、受講態度が好ましくない者には退室を求めることがある。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料...各時間、配布する。
参考文献...講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. 地誌学とは
地誌をどのようにとらえるか
2. 菅江真澄遊覧記から見た地誌
青森の生活
3. 菅江真澄遊覧記から見た地誌
秋田の生活
4. 東遊雑記から見た地誌
山形の生活
5. 東遊雑記から見た地誌
岩手の生活
6. 東遊雑記から見た地誌
宮城の生活
7. 利根川図志から見た地誌
利根川の利用
8. 利根川図志から見た地誌
利根川沿いの神社
9. 利根川図志から見た地誌
江戸の生活
10. 秋山記行から見た地誌
長野の生活
11. 和州巡覧記から見た地誌
奈良の寺社
12. 都名所図会から見た地誌
京都の生活
13. 都名所図会から見た地誌
京都の寺社
14. 播州名所巡覧図絵から見た地誌
兵庫の生活
15. 江漢西遊日記から見た地誌
三重の生活

予習・復習

予習...講義の最後に、翌週の講義の内容を紹介する。そのテーマについて、翌週までに興味のある事柄を1つ調べる。
復習...講義終了後は、各自が、その日の講義内容の要点を確認する。また、配布資料の文章で分からない言葉があれば、辞書で意味を必ず調べる。

備考

講義に使う資料は、江戸時代を生きた人々が残した記録である。江戸時代に見聞した事や考えた事など、当時の生活の様子が記録として残り、その当時の生活を知る貴重な資料として現在に伝えられている。現在との類似点もあれば、相違点もある。そこで、テーマごとに、現在の生活と比較しながら資料を読んでもらいたい。一方、日頃から自分の周囲の景色をながめ、どのような特色があるかを探す意識を持つきっかけにしてもらいたいと思う。